



Intelligent U3

USB 3.1

デュプリケータ/テスター
(USB/USB-HDD)

ユーザーマニュアル V1.01

目次

免責.....	3
保証.....	3
ご使用の前に	3
製品紹介.....	4
機能一覧.....	5
[デュプリケータ機能詳細]	11
1. コピー.....	11
2. コンペア.....	12
3. コピー+コンペア	12
4. フォーマット	12
5. 消去.....	13
6.Utility (ユーティリティ)	14
7.セットアップ.....	16
8.Log Manager(ログ管理).....	18
9.Working Mode (動作モード)	20
[テストモード機能詳細]	21
1. メディアチェック機能.....	21
2. Signal Detection(信号検知).....	24
3. Measure Speed	24
4. フォーマット	25
5.Utility (ユーティリティ)	25
6.Log Manager(ログ管理).....	27
9.Working Mode (動作モード)	28
製品仕様.....	29

免責

本製品は、著作権所有者の法的権限を持つデータのバックアップ専用で作られています。著作権の不正行為は固く禁じられているため、製造者はユーザーによる違法行為の保証または表明を放棄します。また、製造者は、当社の支配外の事象や状況に起因する事業を行うことができないこと、またはサービスを提供することができないことに起因する損失または損害に対する責任を放棄します。ユーザーは、当社の製品を購入することで上記のすべての声明に同意したことになります。本取扱説明書は、個人的な使用を前提としています。本取扱説明書のいかなる部分も、製造元の書面による明示的な許可なく複製、送信、または転載することはできません。この取扱説明書に記載されている情報は予告なしに変更されることがあります。

保証

ケーブル、アダプタ、その他の消耗品を除くすべての製品に対して、ご購入後1年間の製品保証を提供しています。

製品保証は製品を購入した地域ごとに定義されていますので、日本国内で購入した製品については日本国内のみで保証を受けることができます。。

ご使用前に

- 必ず製品付属の AC アダプターおよび電源ケーブルをご使用ください。
- 高温多湿を避け、清潔で乾燥した環境でご使用ください。
- 本製品の動作中、製品本体が発熱するのは正常です。
- 動作中は、製品本体および HDD を動かさないでください
- 製品の損傷を避けるため、動作中に装置を取り外さないでください。
- USB HDD 等、外部電源が必要な装置は必ず製品付属の AC アダプターを使用してください。
- 機器に触れる際は、静電気にご注意ください。本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

製品紹介

1. 特長

- 16GB/分 (266MB/秒) の高速転送。
- コピー、コンペア、消去、メディアチェック、フォーマット機能搭載。
- H2/H5 メディアチェック機能搭載。
- シグナルテスト機能搭載。USB3.0 を謳いながらも USB2.0 の IC を搭載している粗悪な USB メモリを判別することが可能。
- スタンドアロン動作、ウイルス感染のリスクなし。
- 非同期消去/フォーマット/メディアチェック/速度チェックをサポート。処理が終わったメディアから取り外して新しいメディアの処理を開始することが可能。
- 高速コンペア機能搭載。。
- 速度の遅いメディアの処理を自動的に停止して全体の処理効率を高める速度制限機能搭載。
- ログ出力機能搭載。コピーや消去だけでなく、システムおよびメディアの (VID/PID、MID/OID、S/N) も記録します。

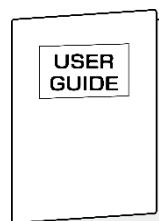
2. 製品内容



本体 x1



AC ケーブル x1



英文マニュアル



手袋 1組*

機能一覧

本製品は2種類のモードが搭載されています。

- ・デュプリケータモード（コピーや消去機能）
- ・テストモード（メディアチェック機能）

モードの切り替えはメニュー:Working mode で切り替えます。

デュプリケータモード

機能	説明
1. Copy (コピー)	データのコピーを実行します。
2. Compare (コンペア)	ソースとターゲットを Bit by Bit で比較します。
3. Copy&Compare (コピー&コンペア)	データコピー後、自動的にコンペアを実行します。
4. Do Format (フォーマット機能)	1.Auto Format メディアを FAT32 または FAT16 に自動でフォーマットします。
	2. FAT16 Format FAT16 にメディアをフォーマットします。
	3. Fat32 Format メディアを FAT32 にフォーマットします。
	4. FAT 16 クラスタ サイズの設定 FAT16 クラスタ サイズを設定します。
	5. FAT 32 クラスタ サイズの設定 FAT 32 クラスタ サイズを設定します。
5. Erase (消去)	5.1 Quick Erase (クイック消去) メディアの先頭部分のみを消去します。
	5.2 Full Erase (完全消去) メディア全体に 0x00 を上書きし、すべてのデータを消去します。
	5.3 DoD Erase (DoD 消去) 米国国防総省(DoD)規格に準拠し、メディアを 3 回上書き消去します。

6. Utility (ユーティリティ)	6.1 USB Info。 接続したメディアのデータ情報、ファイル形式、コンテンツサイズ、容量を表示します。	
	6.2 System Info。 モデル番号やソフトウェアバージョンなどのシステム情報を表示します。	
	6.3 System Update ファームウェアのアップデートを実行します。	
7.Setup(設定)	7.1 Copy Area	7.1.1 System and Files ソースデータのフォーマットが自動的に分析され、データ領域のみがコピーされます。(FAT16/32、NTFS、Linux - ext2/ext3/ext4 で利用可能)
		7.1.2 Whole media 空き容量を含むメディア全体をコピーして完全な複製を作ります。
	7.2.Button Sound ボタンを押下した際、ビープ音を鳴らす、鳴らさないを設定します。	
	7.3 Active USB Revision USB2.0/USB3.0のどちらかを認識させるか、両方認識させるかを設定します。	Both USB 2.0/3.0
		Only USB 2.0
		Only USB 3.0
	7.4 Target Tolerance ソースとターゲットの間の容量許容範囲を設定します。デフォルト設定は「No Limit」です。	No Limit
		100% Same
		Allow Tolerance
	7.5.Power Off time Between Copy+Compare コピーとコンペアの間の電源オフ時間を設定します。	
7.6.Language システム言語を設定します。(英語または日本語)		
7.7.Erase Master Port ユーザーがソースポートを消去/フォーマットできるようにします。		
7.8 Set to Default すべての設定を出荷時の状態に戻します。		

8.Log Manager (ログ管理)	8.1 Out Today Report 当日のログを出力します。	
	8.2 Out Recent Report 最近のログを出力します。	
	8.3 Out Period Date 指定した期間のログを出力します。	
	8.4 Advanced Function ログの消去等を行います。 初期パスワード 123456	8.4.1 Clear All Logs 8.4.2 Setup Password 8.4.3 Adjust Clock
9.Working Mode デュプリケータモードとメディアテスト機能の切り替えを行います。	9.1. Duplicator	
	9.2.Test	

テストモード

機能	説明	
1. Media Check (メディアチェック)	1.1.H2 (Keep Format) データの読み込み/書き込みテストを行います。メディア内のデータは消去されますが、フォーマット形式は維持されます。	
	1.2.H2 (Keep Data) メディアの空き容量部分を使用してデータの読み込み/書き込みテストを行います。データとフォーマット形式は維持されます。	
	1.3.H2 (Overwrite) データの読み込み/書き込みテストを行います。メディア内のデータおよびフォーマット形式のどちらも消去されます。	
	1.4.H5 (Keep Format) データの読み込み/書き込みテストを行います。メディア内のデータは消去されますが、フォーマット形式は維持されます。	
	1.5.H5 (Keep Data) メディアの空き容量部分を使用してデータの読み込み/書き込みテストを行います。データとフォーマット形式は維持されます。	
	1.6.H5 (Overwrite) データの読み込み/書き込みテストを行います。メディア内のデータおよびフォーマット形式のどちらも消去されます。	
	1.7.Setup Range % メディアのチェック範囲をパーセンテージで設定します。	FROM 1% ~ 100%.
	1.8.Setup Range MB メディアのチェック範囲を MB で設定します。	FROM 1~9000MB.
	1.9.Set Error Limit メディアをチェックするときの誤差許容範囲を設定します。	Sector、KB、MB、GB。
	1.10.Minimum Read Speed 最小読込速度を設定します。	0~260MB/秒
	1.11.Minimum Write Speed 最小書込速度を設定します。	0~260MB/秒
	1.12.Set Capacity Limit	Set Upper Limit

		Set Lower Limit
		Clear Limit
	1.13 PreCheck USB Signal	No Need
		USB3 Signal
		USB2 Signal
		USB2, 3 Signal
2. Signal Detection (USB 信号検出)	2.1.USB2 and USB3 USB2.0 と USB3.1 の両方の信号を検出します。	
	2.2.Only USB3 USB3.0 信号のみを検知します。	
	2.3.Only USB2 USB2.0 信号のみをします。	
3. Measure Speed (速度測定)	メディアの読み書き速度を測定します。	
4. Do Format (フォーマット機能)	1.Auto Format メディアを FAT32 または FAT16 に自動でフォーマットします。	
	2. FAT16 Format FAT16 にメディアをフォーマットします。	
	3. Fat32 Format メディアを FAT32 にフォーマットします。	
	4. FAT 16 クラスタ サイズの設定 FAT16 クラスタ サイズを設定します。	
	5. FAT 32 クラスタ サイズの設定 FAT 32 クラスタ サイズを設定します。	
5. Utility (ユーティリティ)	5.1 USB Info. 接続したメディアのデータ情報、ファイル形式、コンテンツサイズ、容量を表示します。	
	5.2 System Info. モデル番号やソフトウェアバージョンなどのシステム情報を表示します。	
	5.3 System Update ファームウェアのアップデートを実行します。	
6. Log Manager	6.1 Out Today Report 当日のログを出力します。	

(ログ管理)	6.2 Out Recent Report 最近のログを出力します。	
	6.3 Out Period Date 指定した期間のログを出力します。	
	6.4 Advanced Function ログの消去等を行います。 初期パスワード 123456	6.4.1 すべてのログを 消去する
		6.4.2 セットアップパ スワード
6.4.3 クロック調整		
7.Working Mode デュプリケータモ ードとメディアテ スト機能の切り替 えを行います。	7.1. Duplicator	
	7.2. Test	

[デュプリケータ機能詳細]

1. コピー

ステップ 1: ソースデバイスとターゲットデバイスを準備します。

メモ

ターゲットデバイスの容量は、ソースデバイスと同等か容量以上でなければなりません。

ステップ 2: ソースとターゲットのデバイスを接続します。

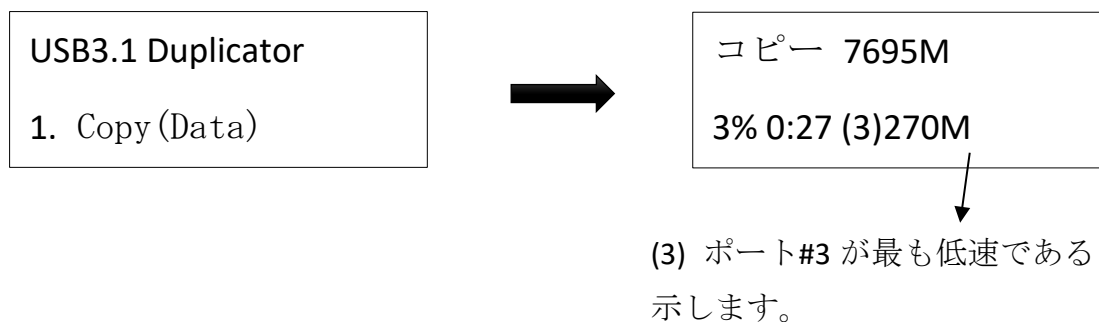
ステップ 3: コピーを実行します。

Copy を選択し、"OK"を押すと処理が開始されます。

メモ

接続されたターゲット数が LCD に表示されるので、確認後 [OK] を押すとコピーが開始されます。

以下の情報は、重複中に LCD に表示される内容を示しています。



メモ

- コピーの前にコピーモードを Setup>Copy Area にて選択してください。
- ▲▼を 5 秒間押すと、最も遅いメディアの処理を停止します。
- "ESC" を 5 秒間押すと、すべてのコピーが停止します。

ステップ 4: コピー完了

コピー完了後、コピーに成功した数量、失敗の数量およびコピーにかかった時間が LCD に表示されます。

2. コンペア

コンペアはソースとターゲットのデータが一致しているか比較チェックします。メニューから Compare を選択し、「OK」を押すと処理が開始されます。

USB3.1 Duplicator 2. Compare

3. コピー+コンペア

コピー後、自動的にコンペアを実行します。

メニューから Copy+Compare を選択し、「OK」を押すと処理が開始されます。

USB3.1 Duplicator 3. Copy+Compare

4. フォーマット

4.1 Auto Format

メディアを FAT 形式でフォーマットします。メディアの容量に応じて自動的に FAT または FAT32 形式でフォーマットされます。

- メディアがすでに FAT または FAT32 の場合、同じ形式でフォーマットします。
- メディアが FAT 形式でない場合、容量ごとにフォーマットされます。容量が 2GB を超える場合、FAT32 フォーマットし、2GB 以下の場合には FAT にフォーマットします。

2 GB 以下	FAT フォーマット
2GB 以上	FAT32 フォーマット

4.2 FAT16 Format

FAT16 形式にフォーマットします。

4.3 FAT32 Format

FAT32 形式にフォーマットします。

4.4 Set FAT16 Cluster Size

FAT16 クラスタ サイズを設定します。

4.5 Set FAT32 Cluster Size

FAT32 クラスタ サイズを設定します。

5. 消去

注意

データはすべて消去されますので、大事なデータがある場合は必ずバックアップを取ってください。

5.1 Quick Erase (クイック消去)

メディアの先頭部分のみを消去します。短時間で完了し、PC 上からデータは見えなくなりますが、実際にはデータが残っているので、メディア廃棄の際には使用しないでください。

メモ

クイック消去はメディアが FAT/FAT32 フォーマットされている場合のみ機能します。

[Erase]

1. Quick Erase

Do ERASE ALL

Confirm?

5.2 Full Erase (完全消去)

メディア全体に 0x00 を 1 回上書きし、データを消去します。NIST SP800-88 ガイドラインの消去方法に準拠します。

[Erase]

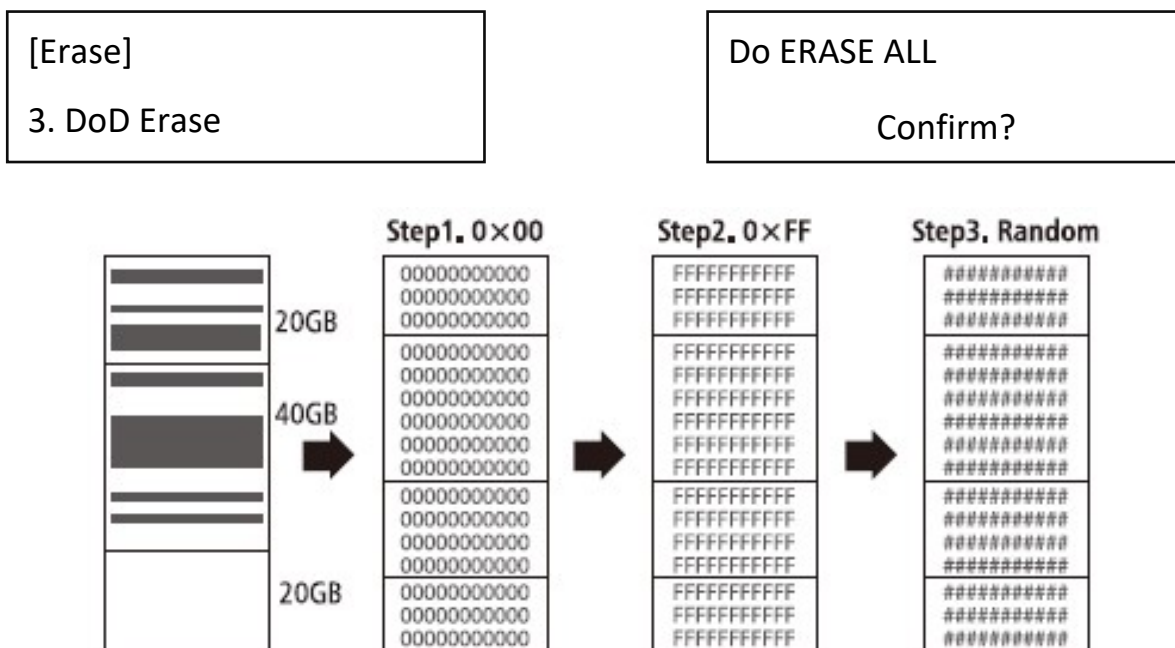
2. Full Erase

Do ERASE ALL

Confirm?

5.3 DoD Erase (DoD 消去)

DoD Erase は、メディアを 3 回上書き消去します。米国国防総省(DoD 5220.22M)の消去規格に準拠しています。



メモ

消去中に▲▼ボタンを押すと、消去中の各ポートの消去状況が表示されます。

6.Utility (ユーティリティ)

6.1 USB Info.

メディアのファイル形式、コンテンツサイズ、総容量などを表示します。

▲▼ボタンを押すことで、各ポートの情報を表示します。

#01	116G	メディアの合計容量
FAT32	60G	データサイズ

メモ

本機能はメディアのデータやフォーマットに影響を与えません。

6.2 System Info.

本体モデル番号やソフトウェアバージョンなどのシステム情報を表示します。

U5332 Dupe 1-15

Ver: 2.39.1

➡ ▼ ボタンを押すと他の情報が表示されます。

6.3 System Update(ファームウェアアップデート)

1. ファームウェアが入ったメディアを準備する

U-Reach の Web サイトからのダウンロード、または U-Reach が提供したファームウェアをメディアにコピーします。

注意

メディアは必ず FAT16 または FAT32 でフォーマットしてください。それ以外のフォーマット形式ではファームウェアを読み込むことができません。

2. ファームウェアアップデートを実行する

ファームウェアの入ったメディアを接続し、[System Update]を選択して OK を押すと、ファームウェアのアップデートが開始されます。

注意

ファームウェアの更新には5分ほど時間がかかる場合があります。更新中は絶対に電源を切らないでください。ファームウェアのアップデートに失敗すると、システムが確実に起動しなくなります。この場合、保証の対象外となる場合がありますので、ファームウェアのアップデートは慎重に行うようお願いいたします。

7.セットアップ

7.1 Copy Area(コピー領域)

① System & Files (データ部分のみ)

メディアのフォーマットを自動的に解析し、FAT 16/32/64、NTFS、Linux ext であった場合、メディア全体ではなくデータのみがコピーされます。そのため、コピーが短時間で完了します。



メモ 対応していないフォーマット形式の場合、自動的に全体コピーに切り替わります。

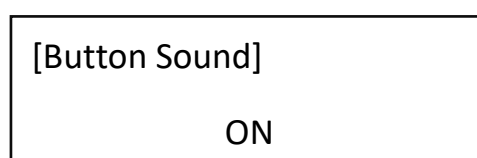
② Whole Media (メディア全体)

空き容量を含めたすべての領域をコピーします。



7.2 Button Sound

ボタンが押されたときにビープ音を鳴らすかどうかを設定します。



7.3 Active USB Revision

USB3.0/USB2.0の検知プロトコルを設定します。

① Both USB 2.0 / 3.0 :

接続したメディアがUSB3.0であればUSB3.0で認識され、USB2.0であればUSB2.0で認識されます。

② Only USB 2.0 :

全てのメディアをUSB2.0メディアとして認識します。

③ Only USB 3.0:

USB3.0メディアのみ認識します。USB3.0以外のメディアが接続された場合、「Fail」と表示されます。

7.4 Target Tolerance

ソースとターゲットメディア間の容量許容範囲を設定します。許容範囲を超える容量の場合、コピーは開始されません。

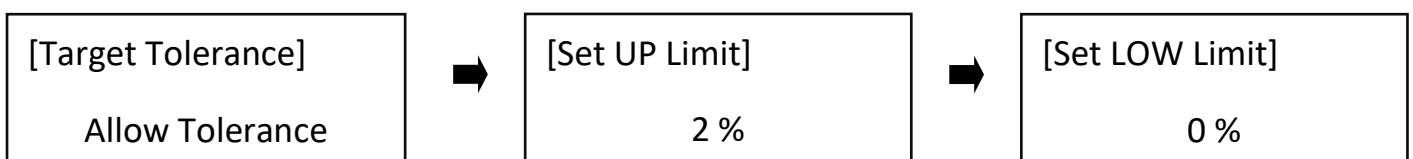
① 100% SAME : ソースとターゲットメディアの容量が100%一致していなければコピーしません。

② No Limit : ソースとターゲットの容量に誤差があっても無視してコピーします。

③ Allow Tolerance : 許容範囲をパーセンテージで設定します。

Set Up Limit:誤差の上限をセットします。

Set Low Limit:誤差の下限をセットします。



7.5 Power Off Time Between Copy+Compare

コピー&コンペアを実行する際のコピーとコンペアの間の電源オフ時間を0秒から15秒の間で設定します。デフォルトでは3秒に設定されています。

7.6 Language

言語を設定します。(英語または日本語)

[Language] English

7.7 Erase Master Port

データ保護の観点から、ソースポートに接続したメディアの消去やメディアチェックは出来ないようになっていますが、本設定を ON にすることで、ソースポートに接続したメディアの消去やメディアチェックが可能になります。

7.8 Set to Default

すべての設定を出荷時の状態に戻します。

Complete All Parameter was cleared!
--

8. Log Manager (ログ管理)

コピーや消去のログを管理します。

2016/11/11	15:36:28
9. Log Manager	

8.1 Out Today Report (当日のログ)

- ① FAT32 フォーマットされたメディアをソースポートに挿入します。
- ② Out Today Report を選択し、OK ボタンを押すとメディアにログが書き込まれます。

8.2 Out Recent Report (最近のログ)

- ① FAT32 フォーマットされたメディアをソースポートに挿入します。
- ② Out Today Report を選択し、OK ボタンを押すとメディアに過去 28 日間のログが書き込まれます。

8.3 Out Period Date (日付を指定)

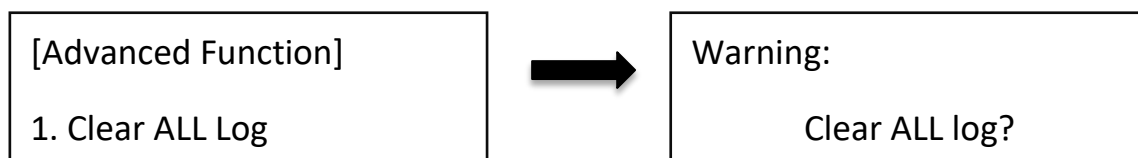
- ① FAT32 フォーマットされたメディアをソースポートに挿入します。
- ② Out Period Date を選択し、書き出したい日付を範囲指定して OK ボタンを押すとメディアその期間のログが書き込まれます。

8.4 Advanced Function

ログデータの消去などを行います。管理者以外が変更できないよう、パスワードが設定されています。初期パスワードは「123456」です。

① Clear All Logs

パスワードを入力すると、すべてのログ レコードを複製から消去できます。



② Setup Password

パスワードを変更します。

9. Working Mode (動作モード)

9.1 Duplicator (デュプリケータモード)

コピーや消去を行うデュプリケータとして動作するモードです。

9.2 Test (テストモード)

メディアチェックなどのテストを行うモードです。

[テストモード機能詳細]

1. メディアチェック機能

注意

- メディアチェックのいくつかの項目ではデータの読み書きを行うため、元データが消去されます。

1.1 H2 (Keep Format)

メディアの読み込みおよび書き込みテストを実行します。テストの後、自動的に元のフォーマット形式に再フォーマットされます。

1.2 H2 (Keep Data)

メディアの空き容量部分を使用してメディアの読み込み/書き込みテストを実行します。空き容量部分で実施するので元データに影響を与えません。

1.3 H2 (Overwrite)

メディアの読み込みおよび書き込みテストを実行します。H2 ファイルが作成され、PC のフリーソフトウェア「H2testW」にてコンペアを行うことが可能です。

1.4 H5 (Keep Format)

メディアの読み込みおよび書き込みテストを実行します。テストの後、自動的に元のフォーマット形式に再フォーマットされます。

1.5 H5 (Keep Data)

メディアの空き容量部分を使用してメディアの読み込み/書き込みテストを実行します。空き容量部分で実施するので元データに影響を与えません。

1.6 H5 (Overwrite)

メディアの読み込みおよび書き込みテストを実行します。テストの後、自動的にFat32 フォーマット形式に再フォーマットされます。

1.7 Setup Range %

テストの容量範囲をパーセンテージで指定します。▲▼ボタンを使用して、1%から100%の範囲を設定します。割合が高いほど、時間がかかります。

[Setup Range] 100%

1.8 Setup Range MB

テストの容量範囲を MB で設定します。使用する▲▼ボタンを使用して、1MB から 9000 MB の範囲を設定します。

[Setup Range MB] 2000MB

メモ

Range% と Range MB の両方が設定されている場合、最後に設定した方が優先されます。

1.9 Setup Error Limit

メディアのエラー許容範囲を設定します。▲▼ボタンを使用してエラー制限値を設定します。使用する単位 (KB または MB) を選択し、値を選択します。

[Setup Unit] MB

[Setup Error Limit] 9000MB

1.10 Minimum Read Speed (最低読込速度)

最低読込速度を設定し、その設定を下回る場合、エラーを出します。

[Minimum Read Speed] 10.0MB/Second

1.11 Minimum Write Speed

最低書込速度を設定し、その設定を下回る場合、エラーを出します。

[Minimum Write Speed] 10.0MB/Second
--

1.12 Set Capacity Limit

テストを行うメディアの容量制限を行います。。

[Set Capacity Limit] 1. Set Upper Limit
--

[Set Capacity Limit] 2. Set Lower Limit
--

1.13 PreCheck USB Signal

メディアチェックの前 USB プロトコルチェックを行うかどうかを設定できます。

① "No need"

プロトコルチェックを行いません。

② "USB3 Signal"

メディアチェックの前に USB3.1 信号テストを行います。

③ "USB2 Signal"

メディアチェックの前に USB2.0 信号テストを行います。

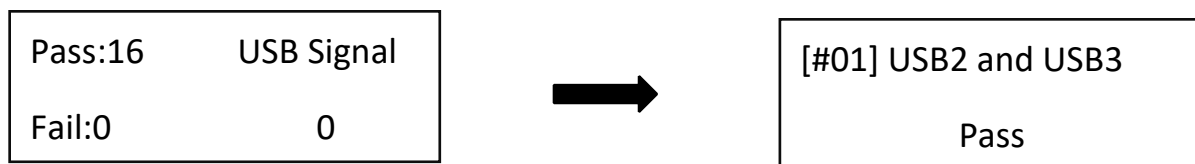
④ "USB2, 3 Signal"

メディアチェックの前に USB2.0 と USB3.1 信号テストの両方を行います。

2. Signal Detection(信号検知)

2.1.USB2 and USB3

接続したメディアが USB2.0 または USB3.0 の場合、Pass 表示を出します。それ以外のプロトコルを検知した場合、Fail 表示を出します。



2.2. Only USB3

接続したメディアが USB3.0 の場合、Pass 表示を出します。USB3.0 以外のプロトコルを検知した場合、Fail 表示を出します。

2.3. Only USB2

接続したメディアが USB2.0 の場合、Pass 表示を出します。USB2.0 以外のプロトコルを検知した場合、Fail 表示を出します。

3. Measure Speed

メディアの読み込み速度と書き込み速度を測定します。

- ① メディアをソースポート以外のポートに接続し、Measure Speed を選択して OK を押します。



- ② ▲▼キーを押すと各ポートのメディアの速度が表示されます。
- ② 。

メモ

- 書き込みを行うため、メディア内のデータは消失します。大事なデータは予めバックアップしてください。

4. フォーマット

4.1 Auto Format

メディアを FAT 形式でフォーマットします。メディアの容量に応じて自動的に FAT または FAT32 形式でフォーマットされます。

- メディアがすでに FAT または FAT32 の場合、同じ形式でフォーマットします。
- メディアが FAT 形式でない場合、容量ごとにフォーマットされます。容量が 2GB を超える場合、FAT32 フォーマットし、2GB 以下の場合には FAT にフォーマットします。

2 GB 以下	FAT フォーマット
2GB 以上	FAT32 フォーマット

4.2 FAT16 Format

FAT16 形式にフォーマットします。

4.3 FAT32 Format

FAT32 形式にフォーマットします。

4.4 Set FAT16 Cluster Size

FAT16 クラスタ サイズを設定します。

4.5 Set FAT32 Cluster Size

FAT32 クラスタ サイズを設定します。

5.Utility (ユーティリティ)

5.1 USB Info.

メディアのファイル形式、コンテンツサイズ、総容量などを表示します。

▲▼ボタンを押すことで、各ポートの情報を表示します。

[#01]	116G	—	メディアの合計容量
FAT32	60G	—	データサイズ

メモ

本機能はメディアのデータやフォーマットに影響を与えません。

5.2 System Info.

本体モデル番号やソフトウェアバージョンなどのシステム情報を表示します。

U5332 Dupe 1-15

Ver: 2.39.1

➡ ▼ ボタンを押すと他の情報が表示されます。

5.3 System Update(ファームウェアアップデート)

1. ファームウェアが入ったメディアを準備する

U-Reach の Web サイトからのダウンロード、または U-Reach が提供したファームウェアをメディアにコピーします。

注意

メディアは必ず **FAT16** または **FAT32** でフォーマットしてください。それ以外のフォーマット形式ではファームウェアを読み込むことができません。

2. ファームウェアアップデートを実行する

ファームウェアの入ったメディアを接続し、[System Update]を選択して **OK** を押すと、ファームウェアのアップデートが開始されます。

注意

ファームウェアの更新には5分ほど時間がかかる場合があります。更新中は絶対に電源を切らないでください。ファームウェアのアップデートに失敗すると、システムが確実に起動しなくなります。この場合、保証の対象外となる場合がありますので、ファームウェアのアップデートは慎重に行うようお願いいたします。

6. Log Manager (ログ管理)

コピーや消去のログを管理します。

2016/11/11	15:36:28
9. Log Manager	

6.1 Out Today Report (当日のログ)

- ① FAT32 フォーマットされたメディアをソースポートに挿入します。
- ② Out Today Report を選択し、OK ボタンを押すとメディアにログが書き込まれます。

6.2 Out Recent Report (最近のログ)

- ① FAT32 フォーマットされたメディアをソースポートに挿入します。
- ② Out Today Report を選択し、OK ボタンを押すとメディアに過去 28 日間のログが書き込まれます。

6.3 Out Period Date (日付を指定)

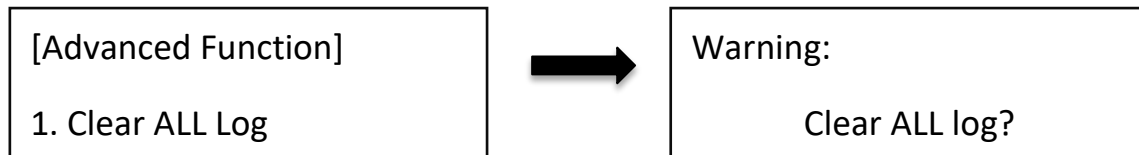
- ① FAT32 フォーマットされたメディアをソースポートに挿入します。
- ② Out Period Date を選択し、書き出したい日付を範囲指定して OK ボタンを押すとメディアその期間のログが書き込まれます。

6.4 Advanced Function

ログデータの消去などを行います。管理者以外が変更できないよう、パスワードが設定されています。初期パスワードは「123456」です。

- ① Clear All Logs

パスワードを入力すると、すべてのログ レコードを複製から消去できます。



② Setup Password

パスワードを変更します。

9. Working Mode (動作モード)

9.1 Duplicator (デュプリケータモード)

コピーや消去を行うデュプリケータとして動作するモードです。

9.2 Test (テストモード)

メディアチェックなどのテストを行うモードです。

製品仕様

USB3.0 デュプリケータ/テスター		
仕様	対応容量	18TB 以上
	オペレーションタイプ	スタンドアロン
	対応言語	英語または日本語
	LCD ディスプレイ	バックライトモノクロ液晶ディスプレイ
	LED	ポートあたり 2 つの LED インジケータ(1 赤 /1 グリーン)
	コントロール パネル	4 プッシュボタン(▲, ▼,OK, ESC)
機能	コピーモード	システム&ファイルコピー
		メディア全体のコピー
	コンペア	Bit by Bit によるデータ比較
	メディアチェック	H2 テスト:(上書き/フォーマットを保持)
		H5 テスト (上書き /フォーマットを保持)
消去モード	クイック消去、完全消去、および DoD 消去	
フォーマット機能	FAT または FAT32 形式	
互換性	対応フォーマット形式	システム&ファイルコピー FAT16/32/64, NTFS, Linux (Ext2/Ext3/Ext4)
		メディア全体のコピー: すべてのフォーマットに対応
対応 OS	すべて (Windows、Mac、Linux、およびその他のスタンドアロンシステム)	
ハードウェア仕様	電源	100VAC ~ 220VAC
	作業温度	5°C - 45°C (41F - 113F)
	保管温度	-20°C~85°C(華氏-4 度 - 華氏 185 度)
	作業湿度	20%~80%
	保管湿度	5%~95%
	認証	FCC, CE, RoHS

※仕様は予告なく変更する場合があります。